

登録コード	UAL03601	開講年度	2026			
授業題目	発展租税法学				担当教員	橋本 彩
					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・2時限	
				授業形態	講義	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・法学, 2 4 UAカリ・総人社・法学, 2 3 UAカリ・総人社・法学, 2 2 UAカリ・総人社・法学					
	【法学】法学分野の高度な知識を身につけ、法を解釈適用できる能力を有する。				租税法の高度な知識を身につけ、法を解釈適用できる能力を有する。	
	【法学】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析し、法的評価ができる能力を有する。法律的な考え方を身につけており、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。				量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析し、法的評価ができる能力を有する。租税法の考え方を身につけており、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。	
	2 4 UAカリ・総人社・法学					
	【法学】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、問題解決のための法秩序を構想し、地域・社会に法的に妥当な選択肢を示すことのできる提案力を有する。				多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、問題解決のための租税法の秩序を構想し、地域・社会に法的に妥当な選択肢を示すことのできる提案力を有する。	
(2)授業の概要	租税法の緻密な理解を目指して、所得課税に共通する基礎的な概念や法人に対する課税上の取扱いに関する原理に触れたのち、詳細かつ複雑なルールの体系を読み解き、法人税に関するルールやその背後にある考えについて学ぶ。各回において指定する文献や判例に基づき、具体的な場面を想定しつつ検討を行う。 遠隔授業を実施する際は、Zoomを使用したリアルタイムオンライン授業とする。 ZoomミーティングのURLは、eALPSまたはメールにて知らせる。					
(3)授業計画	第1回 法人課税の潮流 第2回 法人税の課税の根拠 第3回 法人税の統合 第4回 法人所得の算定課程 第5回 益金 第6回 損金 : 役員給与 第7回 損金 : 寄附金、交際費 第8回 損失・年度帰属 第9回 資本等取引、配当所得 第10回 組織再編成 第11回 同族会社 第12回 多様な組織形態に対する課税 第13回 国際取引における課税 第14回 移転価格税制、タックス・ヘイブン対策税制 期末試験の有無 なし					
(4)成績評価の方法	複数回のレポート（80％）および各回の授業への積極的参加（20％）により評価する。					
(5)成績評価の基準	法人税を中心とした所得課税の構造と問題点に対して一定程度の理解が示されていれば「水準にある」、正確な理解が示されていれば「やや上にある」、関連する規範の趣旨や背景も含めて考察がなされていれば「かなり上にある」、さらに解決策まで明確に指摘できれば「卓越している」。					
(6)事前事後学習の内容	参考書等の該当箇所を予習して授業に臨むこと。とりわけ、あらかじめ指定する判例について、事実の概要と判旨を確認してくること。					
(7)履修上の注意	会社法および会計学についての基本的な理解が必要となる。関係科目を履修済みであるかまたは並行して履修することが望ましい。					
(8)質問,相談への対応	原則として毎授業後に受け付けるほか、個別に対応する。					
【教科書】	金子宏・佐藤英明・増井良啓・渋谷雅弘『ケースブック租税法〔第6版〕』（弘文堂、2023年）					
【参考書】	適宜指定する。					